

【1. 概要】

- ・ハウス栽培ブドウにおいてミヤコカブリダニを利用したハダニ類の効率的な防除を実施するために害虫管理マニュアルを作成
- ・カブリダニ導入面積はピーク時(H20)約38ha、しかしH27年は約3haまで減少



図1. ハダニ類

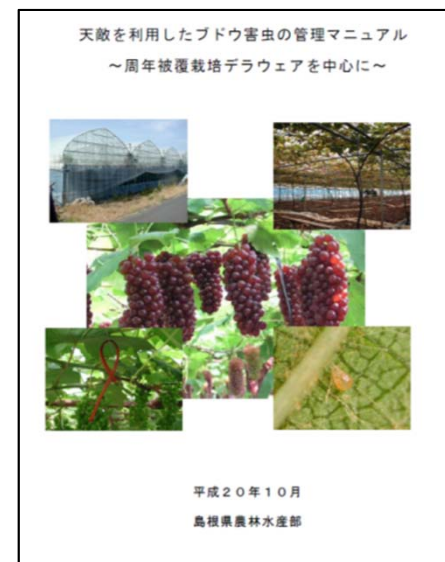


図2. 害虫管理マニュアル

【問い合わせ先】
島根県農業技術センター
資源環境研究部病虫科
電話：0853-22-6772

【2. 実践内容】

(1) 取り組みの背景、経緯

- ・近年ハウス栽培ブドウでは周年被覆栽培を導入する農家が増加、それに伴いハダニ類による被害が問題となっている。このためミヤコカブリダニの導入マニュアルを作成した(図1、2)
- ・普及・JA・生産者組織と技術講習会の開催、実証圃の設置など連携した
- ・ブドウ栽培農家に天敵を使用した効果や感想についてアンケート調査を実施した

(2) 普及にあたって生じた課題等、その理由

- ・カブリダニの活動が確認しにくいいため、農家に補完防除のタイミングが判断しづらく、普及の妨げとなっている
- ・点滴灌水などの乾燥したハウスにおいて現在の放飼方法では生存率が低下し、十分な防除効果が得られない事例がある

【3. 得られた経験、課題に対する対応・解決策】

- ・農家に病害虫や天敵の発生を観察する姿勢が以前より見うけられる
- ・周年被覆・点滴栽培ハウスにおいても有効な天敵放飼技術を開発する予定